

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 大

上場会社名 日進工具株式会社

コード番号 6157 URL <http://www.ns-tool.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 勇

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 田島 寛

TEL 03-3763-5672

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,585	4.1	720	△16.9	745	△18.7	429	△19.4
24年3月期第3四半期	4,404	17.8	866	41.2	916	41.4	532	40.1

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 429百万円 (△19.4%) 24年3月期第3四半期 532百万円 (40.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	137.43	—
24年3月期第3四半期	171.19	—

平成24年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、1株当たり四半期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております(当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算出しております)。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	8,000	7,008	87.6	2,241.96
24年3月期	7,906	6,678	84.5	2,136.31

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 7,008百万円 24年3月期 6,678百万円

平成24年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、1株当たり純資産については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております(当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算出しております)。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	39.00	39.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、平成25年3月期(予想)の年間配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,190	7.1	1,020	5.9	1,050	1.7	600	12.1	191.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成24年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、平成25年3月期の連結業績予想における通期の1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。詳細は、添付資料2ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	3,126,000 株	24年3月期	3,126,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	20 株	24年3月期	2 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	3,125,996 株	24年3月期3Q	3,111,860 株

平成24年10月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数、期中平均株式数(四半期累計)については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております(当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算出しております)。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、震災からの復興需要やエコカー補助金の効果等から回復基調で推移するかにみえましたが、債務危機問題から停滞が続く欧州やその影響を受けた中国の成長鈍化といった海外経済の減速に歴史的な円高が加わり、輸出関連を中心に弱含む展開となりました。さらに9月以降は日中関係の急激な悪化による影響から減速傾向を強めました。12月に入り衆議院選挙で自民党が大勝すると、安倍新政権の経済対策への期待から円安・株高局面となりましたが、实体经济面の動きは鈍い状況が続きました。

当社グループ製品の主要需要先の状況をみますと、自動車関連はエコカー補助金の効果もあって前半は前年同期比プラスとなりましたが、夏場以降は補助金の終了や日中関係悪化による影響から減産を強いられる展開となりました。またエレクトロニクス関連ではスマートフォンやタブレット端末関連の好調が目立ちましたが、薄型テレビやAV機器、パソコン等の低調から大手電気機器メーカーの不振が続くなど厳しい状況となりました。

このような環境のなか当社グループでは、アジア地区を中心に海外での販売活動の強化を進めるとともに、各種展示会への出展や単独又は共催での技術研修会の開催を積極的に行い、ユーザーへの浸透を図ってまいりました。

また開発面では硬脆材加工用スクエアエンドミル「DCMS」が2012年「超」モノづくり部品大賞において「機械部品賞」を受賞する等の成果をあげることができた他、金型業界向けCAD/CAMシステム分野で国内トップクラスの納入実績を有する株式会社C&Gシステムズと精密微細加工向けCAMソフト「NS-MicroCAM」を共同開発する等、単に工具の開発に止まらない活動も行っていました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,585百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は720百万円（同16.9%減）、経常利益は745百万円（同18.7%減）、四半期純利益は429百万円（同19.4%減）となりました。製品区分別の売上高では、「エンドミル（6mm以下）」が2,881百万円（前年同期比3.0%増）、「エンドミル（6mm超）」が561百万円（同3.7%減）、「エンドミル（その他）」が819百万円（同%18.2増）、「その他」が322百万円（同2.8%減）となりました。

（注）報告セグメントが1つでありますので、製品区分別に記載しております。なお「その他」の事業セグメントは、製品区分別の「その他」に含めております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は8,000百万円となり、前連結会計年度末に比べ93百万円増加いたしました。流動資産は4,145百万円となり、326百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少によるものであります。一方、固定資産は3,854百万円となり、419百万円増加いたしました。これは主に連結子会社株式会社牧野工業の工場新設による建物の増加や当社の機械設備の増加などによるものであります。

また、負債は前連結会計年度末と比較して236百万円減少し、991百万円となりました。これは主に未払法人税等の減少などによるものであります。

純資産は、利益剰余金の増加などにより前連結会計年度末と比較して330百万円増加し7,008百万円となりました。

この結果、自己資本比率は87.6%（前連結会計年度末は84.5%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当社及び一部の子会社について、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この減価償却方法の変更による影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,231,001	1,671,088
受取手形及び売掛金	794,281	851,431
商品及び製品	685,295	836,900
仕掛品	152,070	104,825
原材料及び貯蔵品	435,536	483,965
繰延税金資産	124,587	143,352
その他	50,268	55,619
貸倒引当金	△1,270	△1,570
流動資産合計	4,471,771	4,145,612
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,012,120	1,259,601
機械装置及び運搬具(純額)	1,218,330	1,359,538
土地	611,037	628,221
建設仮勘定	191,643	198,026
その他(純額)	132,346	134,712
有形固定資産合計	3,165,478	3,580,100
無形固定資産	11,462	30,085
投資その他の資産		
投資有価証券	46,742	26,742
繰延税金資産	92,329	93,254
その他	119,705	125,539
貸倒引当金	△882	△1,221
投資その他の資産合計	257,894	244,313
固定資産合計	3,434,835	3,854,500
資産合計	7,906,606	8,000,112

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	176,087	191,751
未払法人税等	330,372	67,151
賞与引当金	109,904	66,195
役員賞与引当金	70,000	37,500
その他	263,030	336,350
流動負債合計	949,393	698,948
固定負債		
退職給付引当金	62,787	76,509
役員退職慰労引当金	216,325	216,325
固定負債合計	279,112	292,834
負債合計	1,228,506	991,783
純資産の部		
株主資本		
資本金	442,900	442,900
資本剰余金	405,800	405,800
利益剰余金	5,829,404	6,159,659
自己株式	△3	△29
株主資本合計	6,678,100	7,008,329
純資産合計	6,678,100	7,008,329
負債純資産合計	7,906,606	8,000,112

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	4,404,135	4,585,061
売上原価	2,274,417	2,393,292
売上総利益	2,129,718	2,191,769
販売費及び一般管理費	1,263,033	1,471,366
営業利益	866,684	720,403
営業外収益		
受取利息	870	833
受取配当金	4,269	7,286
受取賃貸料	15,390	13,500
負ののれん償却額	3,200	—
負ののれん発生益	2,643	—
助成金収入	1,961	—
経営指導料	11,300	1,800
その他	11,534	11,190
営業外収益合計	51,170	34,609
営業外費用		
賃貸費用	—	9,562
その他	1,315	203
営業外費用合計	1,315	9,766
経常利益	916,540	745,246
特別利益		
固定資産売却益	8	29
特別利益合計	8	29
特別損失		
固定資産売却損	1,850	195
固定資産除却損	3,520	2,323
災害による損失	16,855	—
特別損失合計	22,225	2,519
税金等調整前四半期純利益	894,323	742,757
法人税等	361,589	313,158
少数株主損益調整前四半期純利益	532,733	429,598
少数株主利益	—	—
四半期純利益	532,733	429,598

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	532,733	429,598
四半期包括利益	532,733	429,598
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	532,733	429,598
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

当社は、平成25年1月16日開催の取締役会において、香港に子会社を設立することについて、下記のとおり決議いたしました。

1. 設立の目的

引き続き成長が期待できる中国市場において、ユーザーニーズに迅速に対応し、一段の販売強化を図るため、香港に物流・販売拠点としての子会社を設立するものであります。

2. 現地法人の概要

- (1) 商号 NS TOOL HONG KONG LIMITED (中文：日進工具香港有限公司)
- (2) 所在地 中華人民共和国香港特別行政区
- (3) 代表者 後藤 弘治 (当社代表取締役副社長)
- (4) 資本金 500千香港ドル (約5百万円)
- (5) 設立 平成25年1月
- (6) 事業開始 平成25年4月 (予定)
- (7) 事業内容 切削工具販売
- (8) 出資比率 当社100%

3. 業績に与える影響

当該現地法人の設立による、平成25年3月期の業績に与える影響は軽微であります。